

2018年度 第1回 University Development シンポジウム

「大学職員3.0 キャリアの振り返りから探る大学の今後10年」

日時 2018年 12月 22日(土) 11:00～18:00**会場** 金沢商工会議所ホール <http://www.kanazawa-cci.or.jp/rooms/access.html>**趣旨**

過去10年間、日本の大学は改革の渦に巻き込まれ、教職員も、業務上・キャリア上、大きな変化を経験してきました。今後、Society 5.0の登場に伴う社会変化は、高等教育のあり方や大学組織を大きく変えようとしており、教職員の企画・運営能力の開発、主体的なキャリア設計の重要性がさらに高まっています。

そこで、現在大学改革の現場で“グローバル”“IR”“URA”“SD”等の分野において活躍されている方々による話題提供の後、参加者自身がこれまでの経験を振り返り、今後10年間で必要とされる能力、また、それを開発するための方策について、小グループでの対話を重ね、考察します。

学生・新入職員からベテラン教職員まで、多様な所属や職種、世代を超えた参加者が「越境的対話」を通して、答えのない課題に取り組むことにより、“大学を開発”する体験の場を提供します

・ University Development (UD) とは、Faculty Development(FD) と Staff Development(SD) を統合発展させた概念です。

※プログラム詳細は裏面をご参照ください。

- 対象：大学教職員または高等教育に関心のある方
- 申込方法：下記専用申し込みフォームから申し込みください。
<https://ws.formzu.net/dist/S24945534/>
- 申込締切：2018年12月14日（金）
- 定員：50名（先着順）
- 参加費用：無料 昼食・情報交換会：事前申込制



プログラム

- 10:30-11:00 受付
- 11:00-11:05 開会挨拶：金沢大学 理事・副学長・事務局長 氷見谷直紀
- 11:05-11:10 趣旨説明：金沢大学 国際基幹教育院 教授 吉永契一郎
- 11:10-11:50 アイスブレイク
- 11:50-12:30 グループワーク1
事前準備する過去10年間の振り返り（直面した困難、切り抜けた経験）、今後10年間に必要とされると考える能力を共有し、グループでこれまで、5年後、10年後の大学を取り巻く環境変化、その変化に対応して必要な能力、必要な能力を身に着ける方策を対話を通じ考察します。
- 12:30-13:30 昼食
- 13:30-14:45 シンポジスト話題提供
シンポジストからの発表の後、ファシリテーターとの対話を通じ、振り返りと今後のキャリアへの視座を提供します
- 15:00-16:00 グループワーク2
話題提供を踏まえ、グループワーク1から引き続き対話を通じた考察を行います
- 16:15-17:00 ワールドカフェ
グループワークで得られたアイデア・発見をワールドカフェ方式で参加者全員で集合的に共有し、新たな気づきを得ます
- 17:00-17:30 リフレクション
参加者各人の振り返りの後、モデレーター等による全体まとめを行います
- 17:30 閉会挨拶：金沢大学 国際基幹教育院 教授 吉永契一郎
- 18:00 情報交換会（別会場・希望者のみ）

モデレーター

畷田敏行氏 茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門 准教授
上畠洋佑氏 愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 特任助教

ファシリテーター

冨永良史氏 発創デザイン研究室・福井大学非常勤講師

シンポジスト

姉川恭子氏 早稲田大学 大学総合研究センター 講師
鎌田康裕氏 福井大学 研究企画・管理部 研究協力係長
宮林常崇氏 首都大学東京 管理部URA室長
松村典彦氏 金沢大学 SGU企画・推進室 専門職員